

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 007号

人生再出発！ 念願の対人援助の仕事に就いて

根本 久子さん

会社名：某 NPO 法人

所属：いばらき若者サポートステーション 役職：総括コーディネーター

資格：産業カウンセラー、キャリアコンサルタント



【受講のきっかけ】

私の場合は、数年前に長年勤めていた事業所が突然閉鎖となり、それまでやりがいを持って取り組んできた仕事を失い、一緒に働いてきた仲間との別れに、何ともいいようのない空虚感や寂しさを味わいましたが、何よりもあまりにも突然で重大な出来事に、家族にも言えず苦しんでいる仲間の姿をみて、私に何かできることはないかと思ったのが、きっかけでした。

定年退職後は電話相談員になろうと思っていたので、カウンセリングの勉強はしていましたが、資格もなく経験もない中で、どうしたら働くことに悩んでいる人の役に立てるのか、知り合いのカウンセラーに相談したところ、「産業カウンセラー」という資格があることを教えて頂きました。すぐに通学制の養成講座を受講することを決め、「産業カウンセラー」の資格を取得しました。

【資格取得後の活動状況】

資格取得後は、数年間、公共職業安定所にて求職者の職業相談にあたりました。そして現在は、厚生労働省の委託事業である「地域若者サポートステーション」で総括コーディネーターをしています。

「地域若者サポートステーション」では、様々な悩みを抱え、働きたいけど、どうしてよいかわからない等無業状態の若者やその家族に対し、職業的自立

に向けた支援を行っています。人間関係がうまくいかず、仕事を辞めてしまった若者の中には、人と関わることが苦手な人もいます。そういった若者に対し、「産業カウンセラー」の養成講座で学んだ技法は非常に役に立ちます。特に“傾聴”は相手との信頼関係を構築するうえで、とても有効な技法のひとつです。就労支援の場でこういった技法を活用し、若者に伴走しながら支援を続けた結果、就職が決定した時は本当に嬉しいです。また、人の変容の過程に携われることにやりがいを感じています。

こうして念願だった対人援助の仕事に就き、若者と向き合い、毎日充実した日々が過ごせるのも、あの時「産業カウンセラー」の養成講座を受講したからだと思います。

今後については、ひとりでも多くの人が自己有用感を感じ、ありのままの自分で居られる場所を見つけられる手助けができればと思っています。そのためには、幅広い知識やスキルが必要なので、さらに自己研鑽に努めたいと思います。

